

## 健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

## すぎと健康アカデミー関連事業

## 事業概要

第5次杉戸町総合振興計画基本施策の柱の一つ「自分の健康は自分で守る」に基づき、すべての町民が健康で元気に暮らせるよう、健康づくり事業を総括的に展開していくことを目的とし、「すぎと健康マイスター養成事業」および「すぎと健康アカデミー事業」を実施している。

これは、町が主催する健康づくり事業に積極的に参加した方を讃え、すぎと健康マイスターとして任命することで、自らの健康行動を振り返りながら健康づくりに取り組む町民を応援している。平成25年度から4か年計画であったため、今年度で事業終了となる。

すぎと健康アカデミーは、地域の健康づくりの担い手を養成することを目的とし平成26年度より開校。卒業生が講師となってアカデミーを運営する流れもできはじめ、更なる充実を目指しているところである。

## 事業内容(参加者数・予算等)

## ● 参加者数・予算

マイスター事業 633人 / 24.3万円 (28年度予算)

アカデミー事業 52人 / 11.8万円 (同上)

## ● 内容

マイスター事業:健康づくりに楽しく取り組む目標として、チャレンジに応じたインセンティブを用意し、健康づくりに無関心な層を巻き込むとともに、チャレンジ者のモチベーションをかき立てることを狙いとしている。

アカデミー事業:健康意識の高い町民の拡大を図り、「健康長寿のまちづくり」に行政とともに取り組み、地域への健康情報の発信源となる人材を育成することを目的とする。

## 事業効果

●健康づくりへの意識の変化:健康無関心層を巻き込み、さらには「健康」だけでなく「自分の住むまち」への興味関心を高め、積極的に健康なまちづくりにかかわることへの意識改革をもたらすことができた。

●参加者相互の健康意識の触発:グループワークを多く取り入れ、がん検診の受診勧奨を参加者相互で行い、また運動習慣の継続のためには人とのつながりは欠かせないものであることをセッションから導き出し、個人の行動変容を促すことができた。

## その他

すぎと健康マイスター事業は今年度で終了となるため、引き続きインセンティブを提供する取組として、埼玉県健康マイレージ事業を活用し更なる展開を計画している。